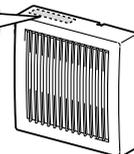


MITSUBISHI
三菱パイプ用ファン
浴室用
取付工事説明書

工事店さま用

この製品の運転にはスイッチが必要です。スイッチの位置を確認してください。

形名表示位置



取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付工事を始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 配線工事は電気工事の方が実施してください。
- この製品は浴室に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを取付けることをおすすめします。壁面汚れ、雨水浸入の原因になります。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

形名	グリル形状	BL規格	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-12PP6-BL	角形格子グリル	浴室用I型	電源コード直付	●塩化ビニル管…VP、VU（呼び径150mm） ●鋼板管（内径150mm）	●木ネジ…2本

お願い

- 高温（40℃以上）になるところに取付けしないでください。（故障の原因になります）
- 塩害、温泉害の発生している場所には取付けしないでください。（故障の原因になります）
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。（振動の原因になります）
- システム部材（ウェザーカバーなど）は壁厚にあったものを選んでください。（壁厚により取付けられないものがあります）
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

安全のために必ず守ること ⇒ 梱包箱を確認ください

外形寸法図 ⇒ 梱包箱を確認ください

取付方法

1.取付前の準備

壁取付の場合（壁穴へのパイプの固定）

1. 取付け場所を決めて穴をあける。

- 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
- 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。

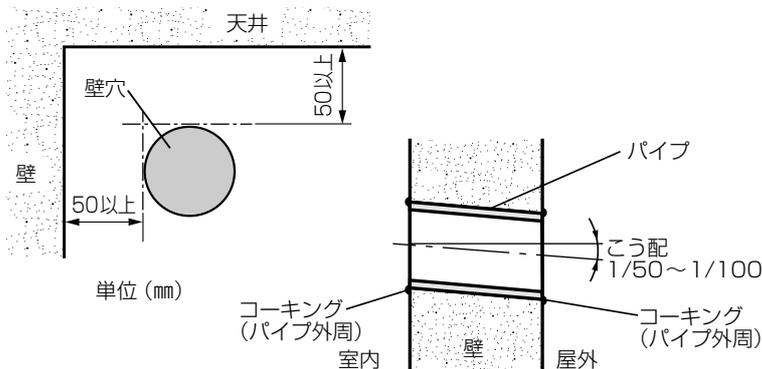
2. 壁穴にパイプを確実に固定する。

パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込んでください。

お願い

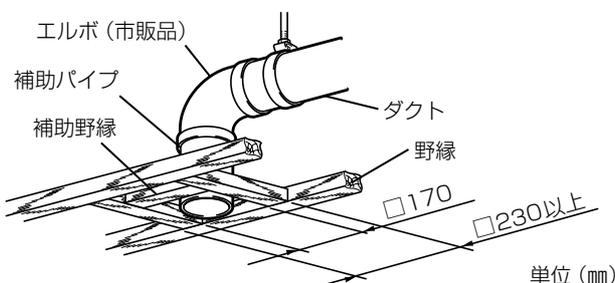
- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。



※パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。

天井取付の場合（野縁工事とダクト配管）

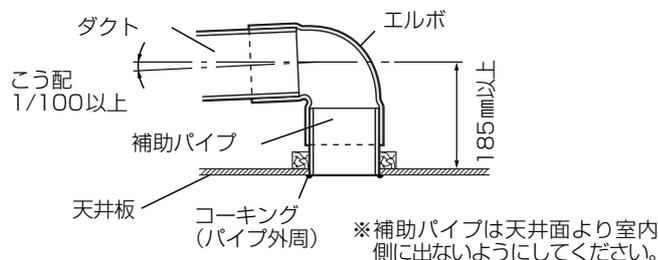
1. 右図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。



お願い

- 補助パイプが壁から右図の位置になるようダクト配管を行ってください。

- ダクトの中心から天井板まで 185 mm以上離して天井板をはる。
- エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。
パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。



お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

2.電気工事

警告

- 交流 100V を使用する
(直流や交流 200V を使用すると感電の原因になります)
- アースを確実に取付ける (D種接地工事)
(故障や漏電のとき感電の原因になります)

注意

- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
(接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因になります)
- 電気工事は電気工事店に依頼する
(感電の原因になります)

■電線同士の接続を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令 (及び同解説)」及び「内線規程」に従い実施してください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
- 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるときは電源線をはさまないように配線してください。
- 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨の当たらないところに設けてください。

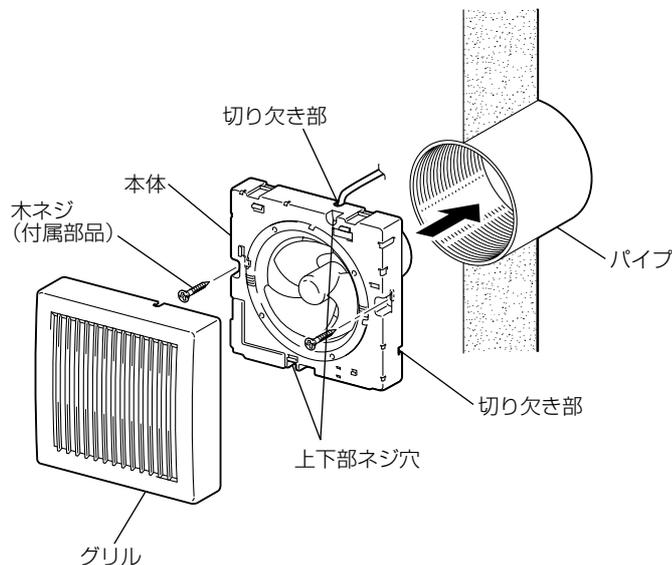
3.本体の取付け (壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです)

1. 本体からグリルをはずす。
2. 結線をする。(配線工事は電気工事士の方が実施してください)
電源との接続は、リングスリーブなどを使用し、確実に接続して絶縁処理をします。

お願い

浴室など湿気の多いところに取付ける場合は、必ずD種接地工事を行ってください。

3. 本体を固定する
本体の上下を確認して本体をパイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。
 - 左右の取付用穴をご使用ください。必要に応じて上下部ネジ穴をご使用ください。
 - 石膏ボードに取付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。
4. グリルを本体に取付ける。
グリルの方向を間違えないよう本体に取付けます。
5. 以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。
6. 試運転を行う。
 - 換気扇が運転・停止するかを確認してください。
 - 異常な音・振動などがないかを確認してください。



愛情点検



☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際
このようなことは
ありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体取付部に腐食、破損等がある。

使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

優良住宅部品 (BL) について

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BL マークの証紙の貼付 (又は刻印等) がされている住宅部品については、財団法人ベターリビングのBL 保険制度により、保険金が支給されます。
- BL 保険制度については、財団法人ベターリビングのホームページ (<http://www.cbl.or.jp/>) をご覧ください。

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

(材質名は主材料にISO) 規定の略号を使用。